

地域防災拠点等でのドラム缶による灯油、軽油の貯蔵・取扱い
仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（例）

1 目的

震災等により地域防災拠点等において非常用発電機及び暖房用燃料として、灯油、軽油をドラム缶で貯蔵し、金属製携行缶、灯油用ポリエチレン缶（以下「携行缶等」という。）に小分けするために必要な事項を予め計画します。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

相模原市 区 町 番 号 小学校運動場（ 地域防災拠点）

3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

合計約 150 平方メートル（10メートル×15メートル）

4 詳細レイアウト

別紙のとおり

5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

第4類第2石油類（灯油・軽油）2,000リットル

6 指定数量の倍数

2倍

7 貯蔵及び取扱いの方法

（1）200リットルの金属製容器（ドラム缶）により貯蔵する。

（2）保有空地进行を3メートル確保する。

（3）貯蔵場所と携行缶等に小分けする場所に3メートルの離隔をとる。

（4）高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。

（5）第5種消火設備 10型ABC粉末消火器 2本を設置する。

（6）標識及び掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。

「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

8 安全対策

（1）ドラム本体、給油に使用するポンプ等のアースを確保する。

（2）危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状所有者が行う。

9 管理状況

（1）保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地进行を確保する。

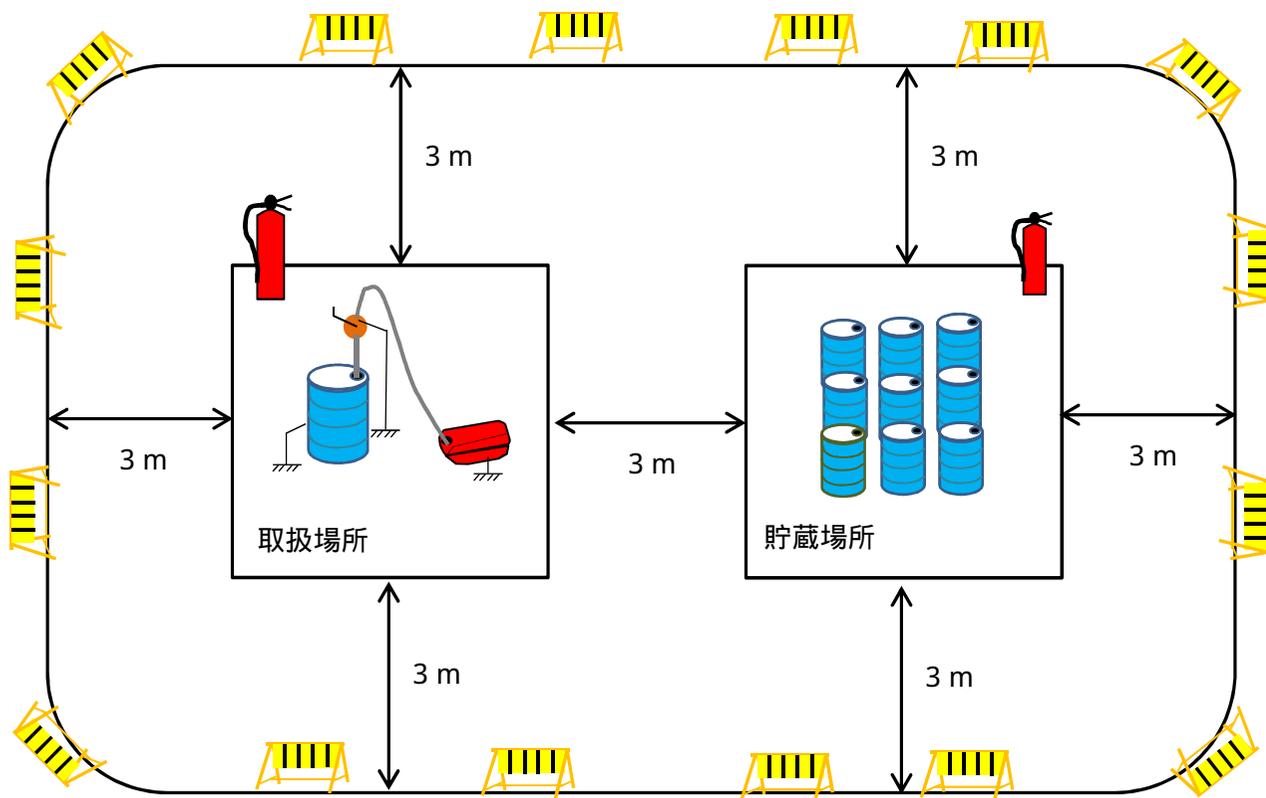
（2）敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。

（3）作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10 その他必要事項

携行缶等への小分けは、この場所以外で行わない。

仮貯蔵・仮取扱いのレイアウト（地域防災拠点等のドラム缶による燃料の貯蔵及び取扱い）



- 注意事項
- 保有空地进行を3メートル確保する
 - 保有空地の周囲にバリケード等を立て空地进行を確保す
 - ドラム缶、給油ポンプ、携行缶にアースを取る
 - ABC 粉末消火器（10型）を2本設置する
 - 危険物は、貯蔵場所に金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する（最大10本）
 - 取扱場所に置くドラム缶は1本とする
 - 貯蔵場所のドラム缶が高温となることを避けるため、必要に応じ通気性を確保した日除けを設ける
 - 危険物の取扱いは通風・換気の良い場所で実施する
 - 標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う

標識・掲示板の例



危険物仮貯蔵所・仮取扱所	
品名	第4類第2石油類 軽油・灯油
数量	2,000リットル
倍数	2倍
管理者	

- ・大きさ、縦 30cm 以上、幅 60cm 以上（縦書きでも可）
- ・「火気厳禁」は、地を赤色、文字を白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地を白色、文字を黒色